

24年度当初 予算の概要

24年度予算が第1回町議会定例会で可決され、一般会計など5つの会計が執行されることとなりました。新年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

■一般会計・特別会計当初予算額

会計区分	本年度	前年度	伸び率%
一般会計	5,407,000	5,115,560	5.70
国民健康保険	105	207	▲ 49.28
簡易水道事業	39,300	39,900	▲ 1.50
公共下水道事業	192,600	183,200	5.13
国保町立診療所	329,700	321,900	2.42
特別会計(合計)	561,705	545,207	3.03
総合計	5,968,705	5,660,767	5.44

東川町の24年度予算は、一般会計54億700万円で、町長選挙の年であった前年度の6月補正後比較(政策予算反映後の予算額)で2億9,144万円、5.7%増。特別会計総額は5億6,170万5千円で、前年度同比較1,649万8千円、3.03%増となり、総計で59億6,870万5千円(前年度同比較3億793万8千円、5.44%増)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計予算の特徴

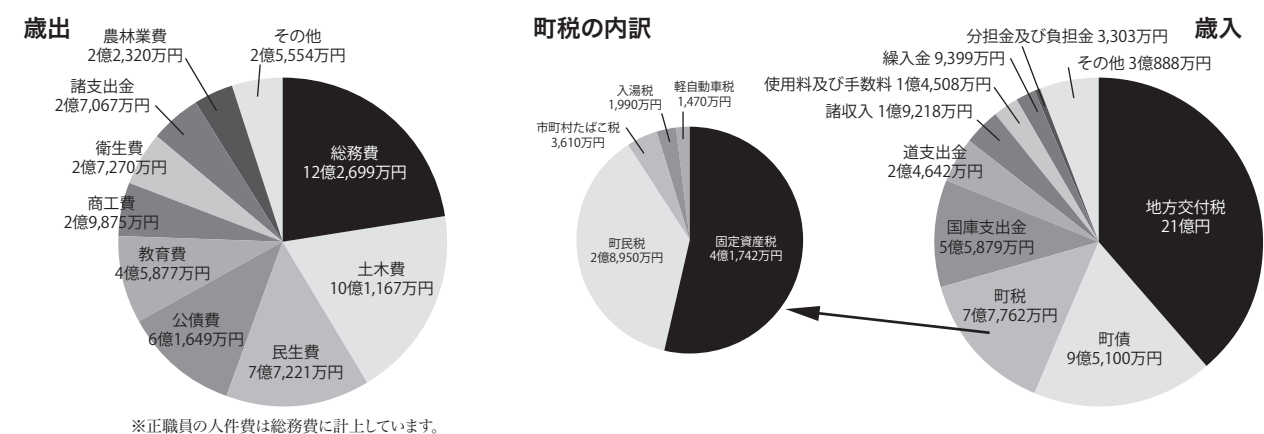
「新まちづくり計画プライムタウン21-1」の5年度目に当たって、実施計画に沿った事業の展開を図るため「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」による事業計画や事業の見直し、効率化を進め、財源確保に努めました。

地方交付税は、地方財政計画では0.1兆円の増額があるなど0.5%増となりました。普通交付税の予算額は、23年度決定額と比較すると675万円、0.4%増を見込んでいます。

投資的事業は、対前年比で4億708万6千円、45.6%増となりました。国、道補助金、その他財源の確保、交付税補てんのある起債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

「写真の町」ひがしかわ株主事業、少子高齢化、母子保健事業の充実、英語教育の充実などに重点をおいて事業費を計上しています。

■一般会計当初予算の構成比



■主な投資事業

事業名	金額(千円)	事業内容
【投資的事業】(単位: 千円)		
・地域交流センター整備事業	191,700	(まちづくり交付金事業)
・グリーンビレッジ遊歩道緑化施設事業	99,000	(まちづくり交付金事業)
・南4条道路新設事業	90,000	(まちづくり交付金事業)
・上岐登牛道路改良事業	90,000	(辺地債事業)
・定住促進住宅建設事業	78,620	(地域活性化債事業)
・体験農園事業	20,822	(地域活性化債事業)
・林業体験施設整備	25,450	(農山漁村プロジェクト交付金事業)
・老人保健センター大規模改修事業	37,000	(集落活性化補助金事業)

東川町の家計簿 東川町の財政を家計にたとえると...

新年度の町予算は54億700万円(一般会計)となりました。家庭の家計と町の財政では仕組みが異なりますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿として資料を作成しました。町の会計は一般会計、特別会計に分かれています。ここでは24年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明しています。

収入

収入項目	金額	家計簿に置き換えた項目	金額
給料(町税・地方交付税)	53万円	家族全員の収入	61万円
パート収入(使用料・手数料など)	8万円	家族全員の収入 + 親からの仕送り	86万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	18万円		
借金(町債)	18万円		
貯金の解約(繰入金)※1	2万円		
財産(土地や家)の貸付など(財産収入)	1万円		
合計	100万円		

※1 貯金の残高は436万円あります(23年度末の貯金残高見込み額を100万円に置き換えた数字)

支出

支出項目	金額	家計簿に置き換えた項目	金額
食費(人件費)	15万円	生活費	63万円
家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	6万円	生活費 + 借金返済	88万円
光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	31万円		
車や家具の修理代(維持補修費)	1万円		
子供たちへの仕送り(特別会計への繰入金、広域連合への負担)	10万円	財産づくり	10万円
借金の返済(住宅ローンなどの返済による町債費)※2	11万円	親戚などへの支援	1万円
家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	24万円		
貸付金(貸付金)	1万円		
貯金	1万円		
合計	100万円		

※2 借金の残高は1,297万円あります(23年度末の借金残高見込み額を100万円に置き換えた数字)

収入の柱は給料の53万円とパートの8万円、それと親からの仕送り18万円です。支出は日々の生活費として63万円、住宅ローンの返済などに11万円、家の増改築費に24万円かかっています。

■資料■ 23年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込み

基金(貯金)		町債(借金)	
一般会計	(百万円)	一般会計	(百万円)
財政調整基金	276	建物(公営住宅除く)、道路の整備などに借りたもの	3,752
減債基金	303	うち国の交付税で補てんされる金額	▲ 1,959
公共施設整備基金	718	差引残高(町が負担する額)	1,793
ふるさと創生事業基金	112	財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)	1,941
地域振興基金	35	平成23年度末残高見込	1,727
地域福祉基金	329	※全額が国の交付税で補てん	
写真の町文化基金	127	公営住宅の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)	1,321
未来を拓くみんなの夢基金	200	平成23年度末残高見込	1,350
総合体育施設建設基金	16	特別会計	
「写真の町」ひがしかわ株主基金	30	簡易水道事業分	466
小西健二奨学基金	30	下水道事業分	896
住民生活に光をそそぐ基金	10	診療所分	460
小計	2,186	うち国の交付税で補てんされる金額	▲ 839
土地開発基金	92	差引残高(町と受益者の負担額)	983
備荒資金	80		
一般会計合計	2,358		
特別会計			
公共下水、診療所	1		